資料６

市長マニフェストに関する

市民アンケート調査結果

報　告　書

平成２５年7月

八　戸　市

― 目　次 ―

１．調査の概要 ----------1

２．アンケート結果

（１）安心・安全社会の実現 ----------2

（２）さらなる活力創出 ----------4

（３）新たな行財政改革と住民参画 ----------6

参考．調査票 ----------8

１．調査の概要

（１）調査の目的

この調査は、平成 25 年度に開催する市政評価委員会における市長マニフェスト評価の基礎資料として、マニフェストの達成度について市民の皆様がどう評価されているのかを把握するために実施しました。

（２）調査内容

① 24 のマニフェスト項目ごとに「マニフェストが実現できていると思うかどうか」を質問しました。

② 回答は、以下の 6 つの選択肢から 1 つを選択していただきました。

ア　十分に達成されている　　イ　まあまあ達成されている

ウ　どちらともいえない　　エ　あまり達成されていない

オ　ほとんど達成されていない　　カ　わからない

③ 回答者の判断材料として、調査票に 24 項目ごとのマニフェスト施策とその実績を掲載しました。

（３）調査対象

この調査は、24 歳以上の市民から無作為で抽出した 1,000 人のほか、第５次八戸市総合計画又は八戸市復興計画の策定に携わった委員及び市政モニターの 245 名を加えた 1,245 名を対象としました。

（４）調査方法

調査方法は郵送配布、郵送回収です。途中、回収率を高めるため、お礼兼督促状を配布しました。

（５）調査期間

平成 25 年 5 月 23 日に発送し、6 月 12 日を投函締め切りとしました。

（６）回収状況

配布数 1,245 票に対して、有効回収数は 573 票、有効回収率は 46.0％でした。

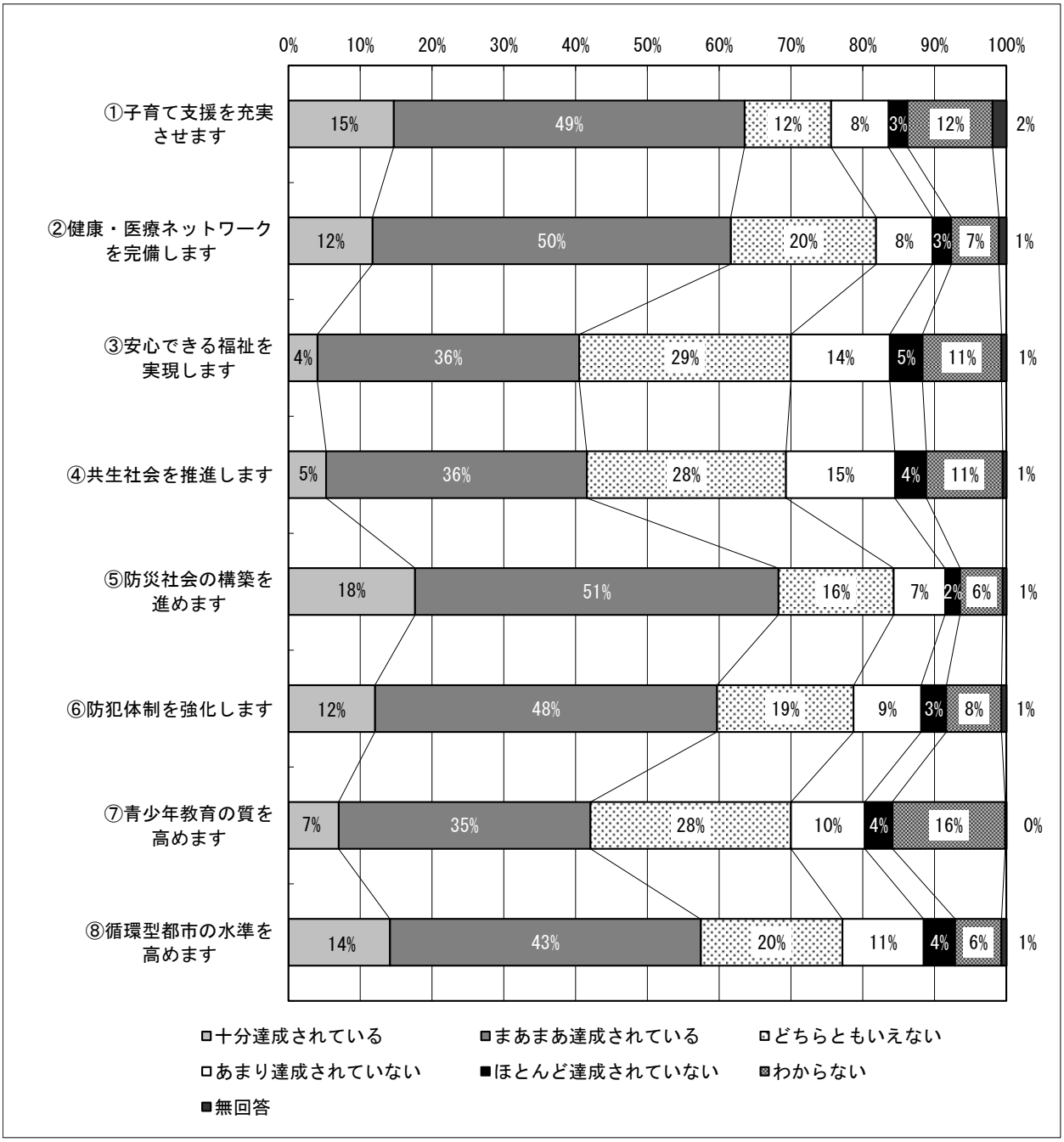
２．アンケート結果

（１）安心・安全社会の実現

１）達成度

「十分達成されている」と「まあまあ達成されている」を合わせた達成度は、「防災社会の構築を進めます」が 69％と最も高く、次に「子育て支援を充実させます」64％、「健康・医療ネットワークを完備します」62％となっています。

図　安心・安全社会の実現についての現状評価



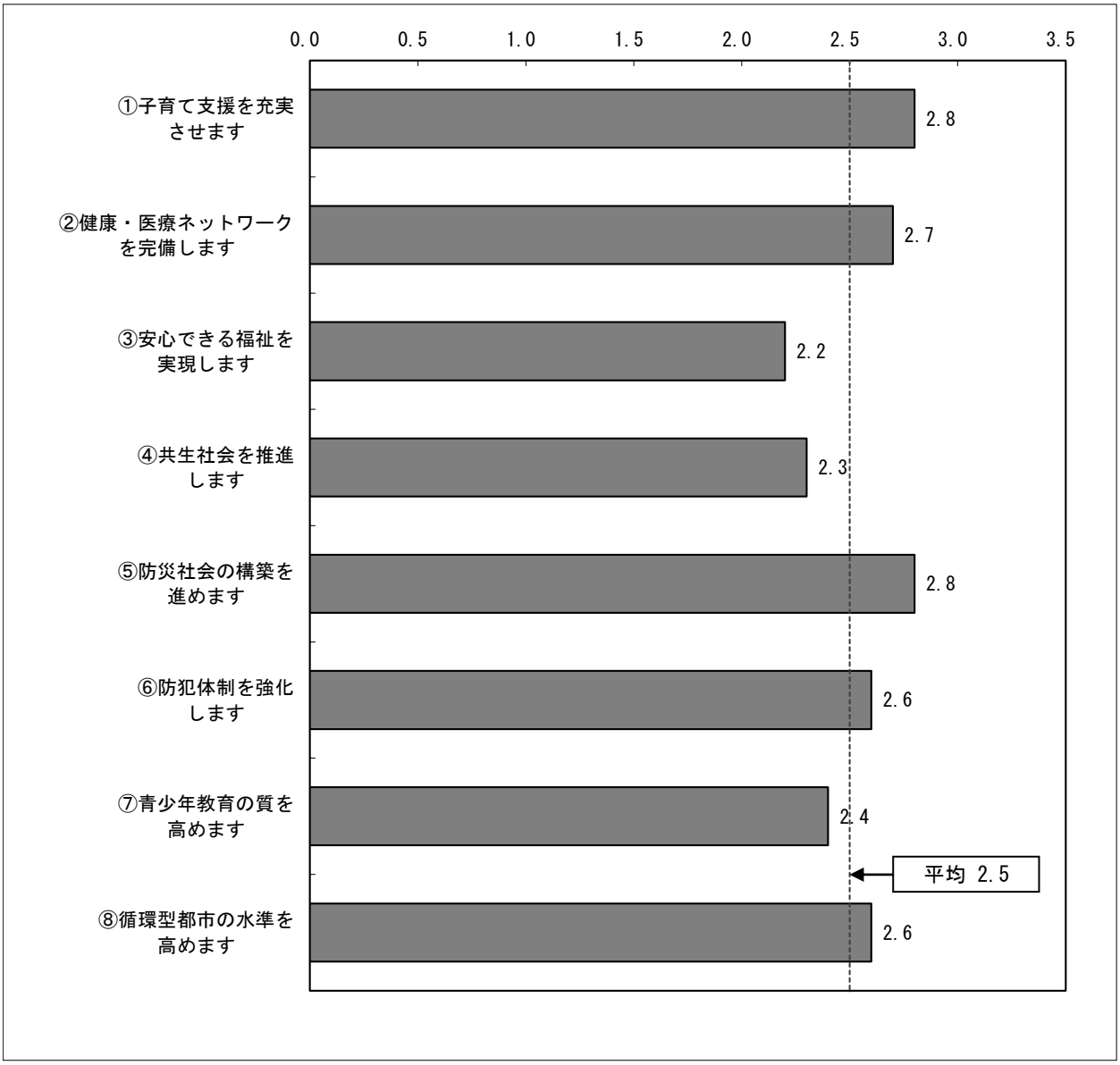
２）達成度得点

「十分達成されている」を４点、「まあまあ達成されている」を３点、「どちらともいえない」を２点、「あまり達成されていない」を１点、「ほとんど達成されていない」を０点とし、当該回答者数で割った値を達成度得点としました。

マニフェストの１つ目の柱「安心・安全社会の実現」の達成度得点の平均値は2.5点となっています。

「防災社会の構築を進めます」や「子育て支援を充実させます」、「健康・医療ネットワークを完備します」が平均を上回っています。一方、高齢・障がい福祉や青少年教育に関する項目が平均値以下になっています。

図　「安心・安全社会の実現」における達成度得点

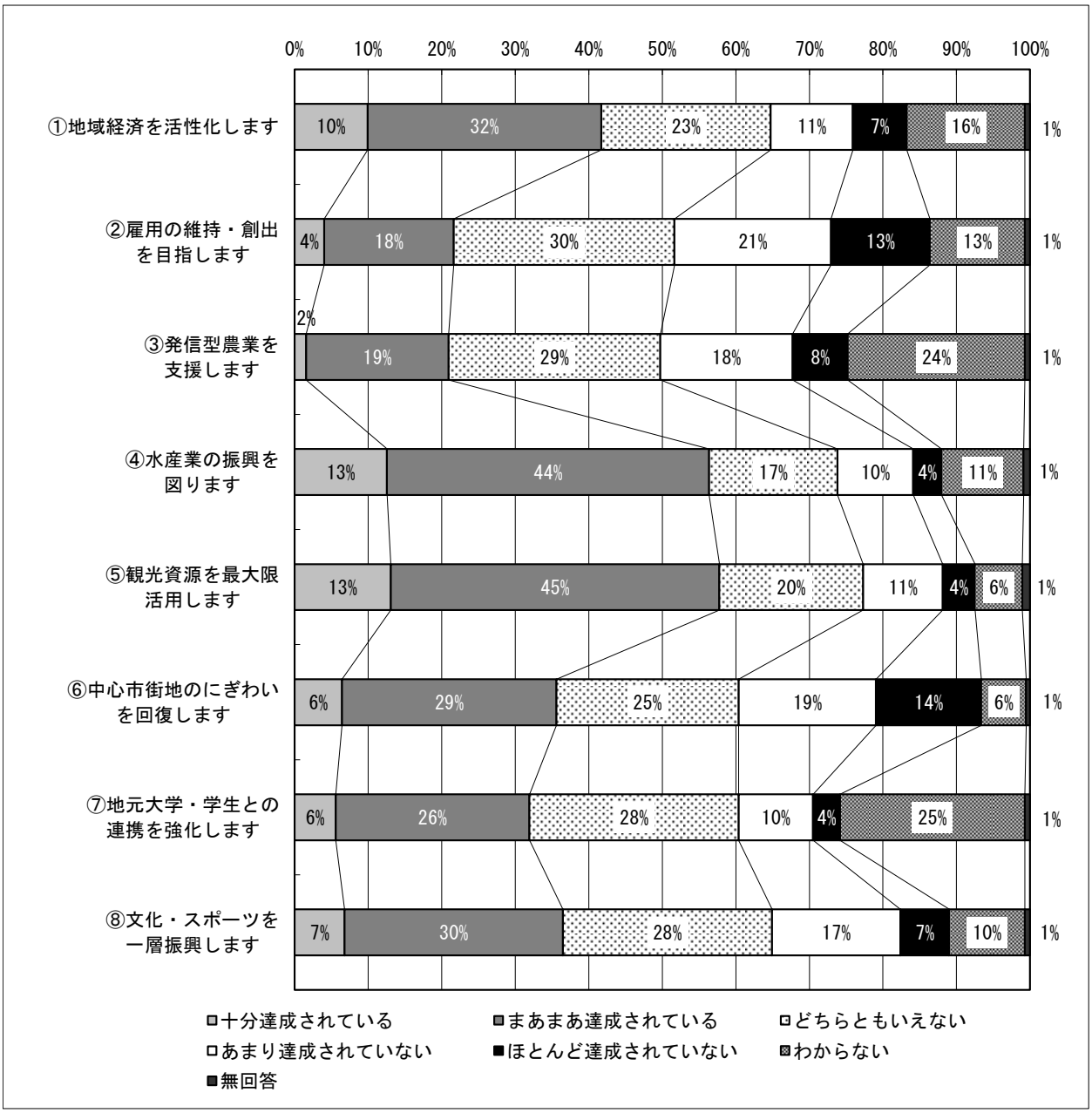


（２）さらなる活力創出

１）達成度

「十分達成されている」と「まあまあ達成されている」を合わせた達成度は、「観光資源を最大限活用します」が 58％と最も高く、次に「水産業の振興を図ります」57％、「地域経済を活性化します」42％となっています。

図　さらなる活力創出についての現状評価



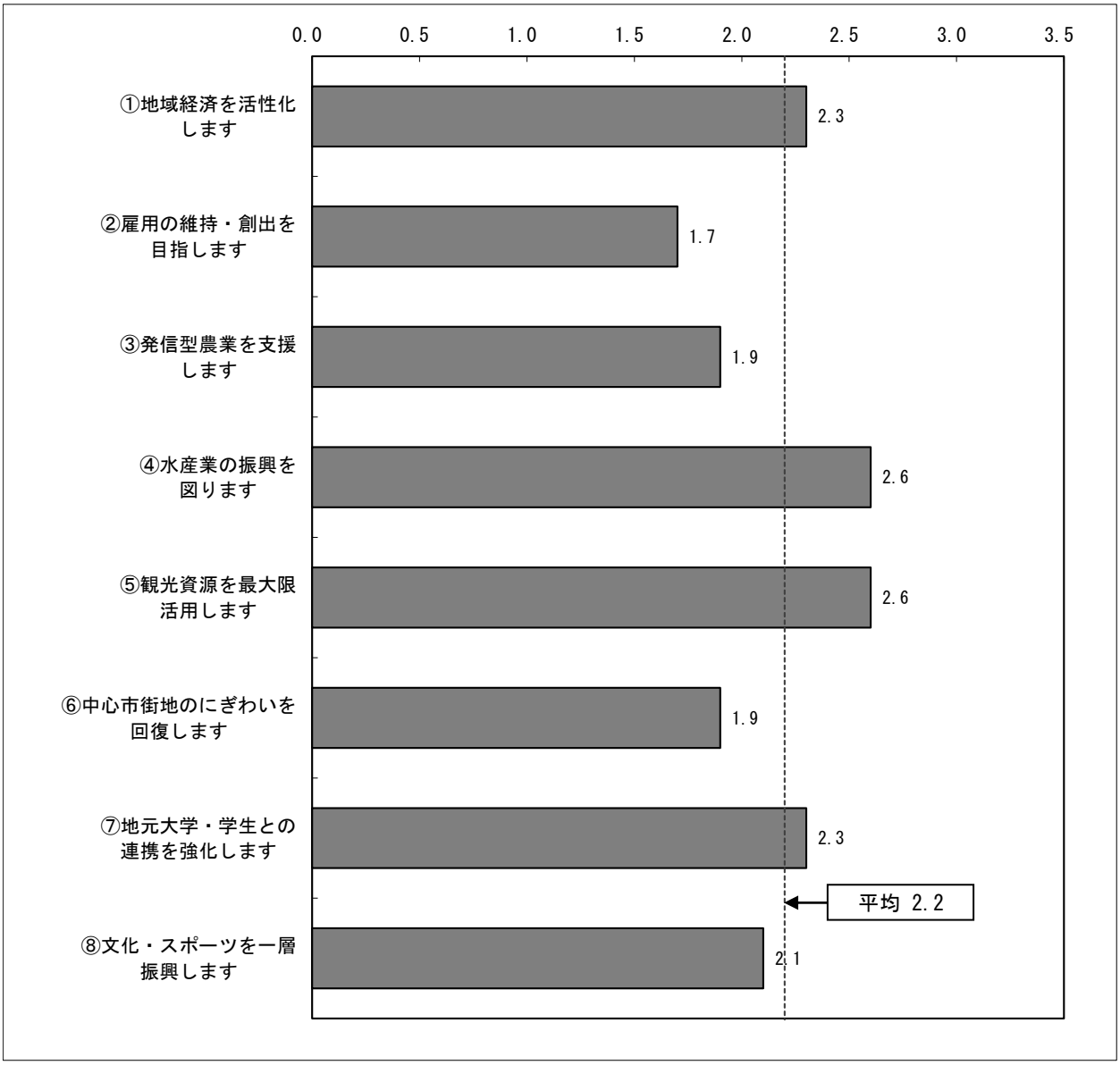
２）達成度得点

「十分達成されている」を４点、「まあまあ達成されている」を３点、「どちらともいえない」を２点、「あまり達成されていない」を１点、「ほとんど達成されていない」を０点とし、当該回答者数で割った値を達成度得点としました。

マニフェストの２つ目の柱「さらなる活力創出」の達成度得点の平均値は2.2点となっています。

「水産業の振興を図ります」や「観光資源を最大限活用します」、「地域経済を活性化します」が平均を上回っています。一方、雇用や農業、中心市街地活性化に関する項目が平均値以下になっています。

図　「さらなる活力創出」における達成度得点

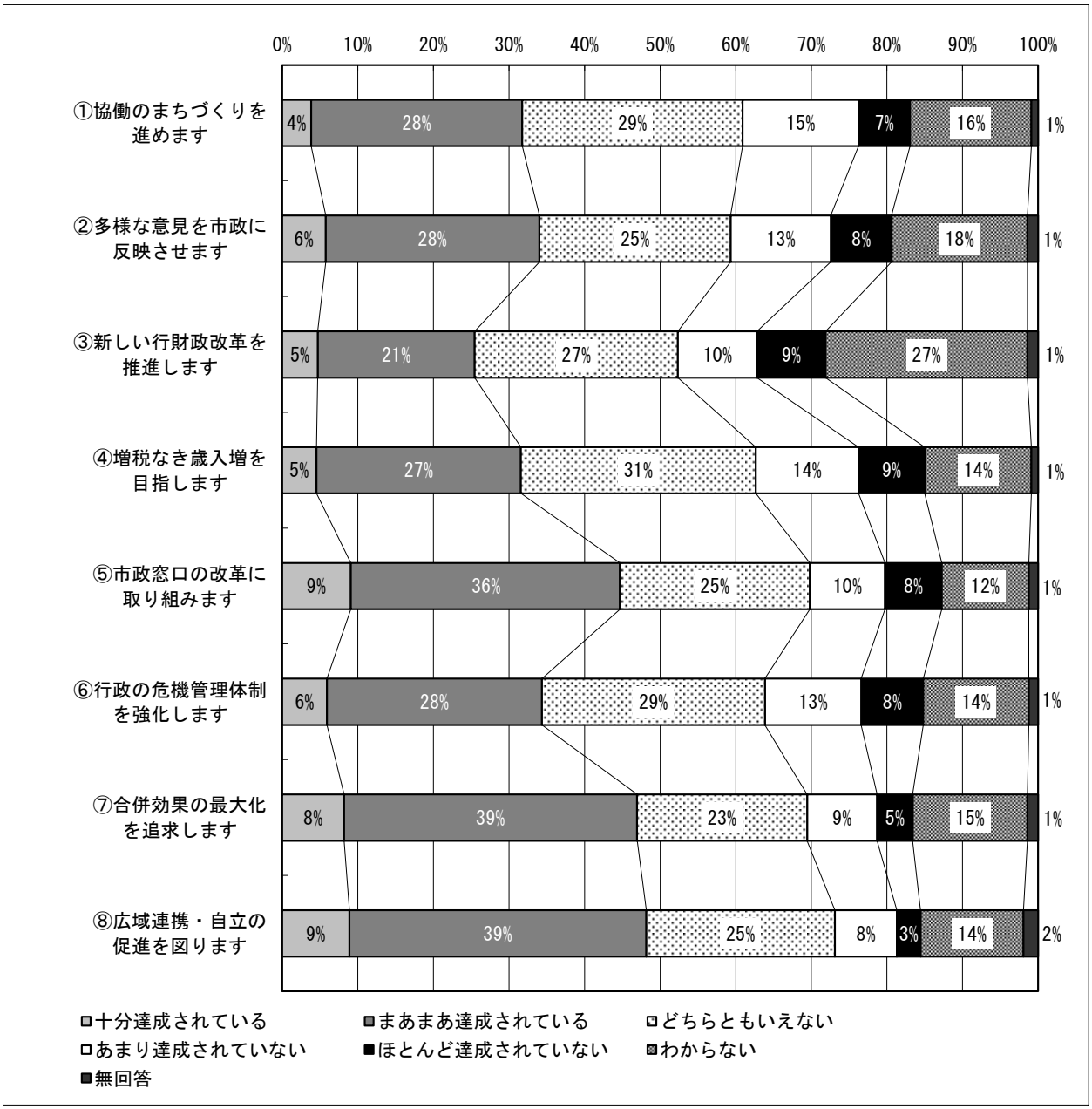


（３）新たな行財政改革と住民参画

１）達成度

「十分達成されている」と「まあまあ達成されている」を合わせた達成度は、「広域連携・自立の促進を図ります」が 48％と最も高く、次に「合併効果の最大化を追求します」47％、「市政窓口の改革に取り組みます」45％となっています。

図　新たな行財政改革と住民参画についての現状評価



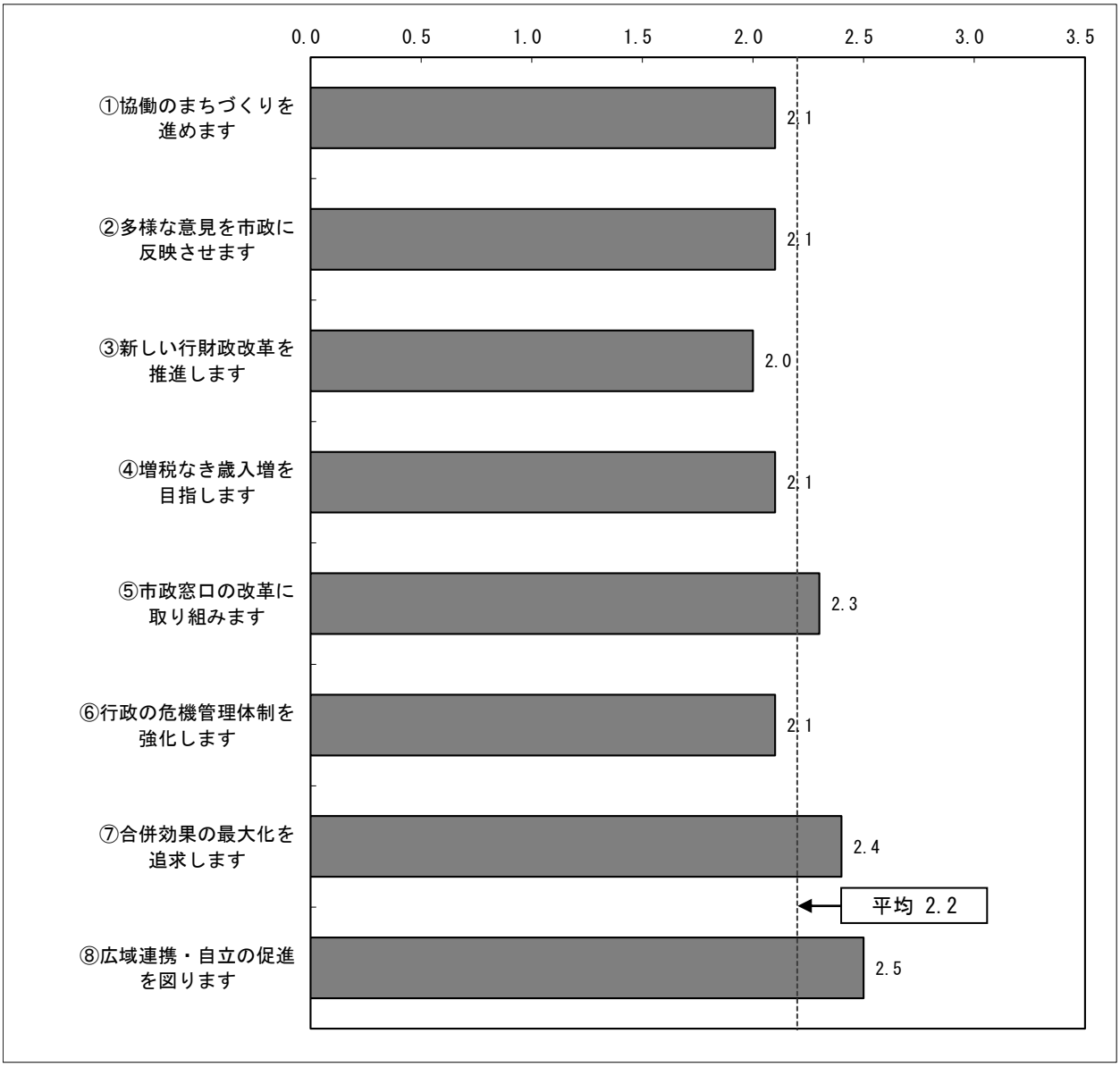
２）達成度得点

「十分達成されている」を４点、「まあまあ達成されている」を３点、「どちらともいえない」を２点、「あまり達成されていない」を１点、「ほとんど達成されていない」を０点とし、当該回答者数で割った値を達成度得点としました。

マニフェストの３つ目の柱「新たな行財政改革と住民参画」の達成度得点の平均値は 2.2 点となっています。

「広域連携・自立の促進を図ります」や「合併効果の最大化を追求します」、「市政窓口の改革に取り組みます」が平均を上回っています。一方、行財政改革の推進や歳入増加に関する項目が平均値以下になっています。

図　「新たな行財政改革と住民参画」における達成度得点



参考

市長マニフェストに関するアンケート調査票

【質問】あなたは、以下に掲げる 24 のマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか？

【回答の方法】24 項目について、市がこれまで取り組んできたマニフェスト施策の実施状況（数値目標を掲げている 11 の施策については達成状況）をお示ししておりますので、それらを踏まえて、あてはまる番号を１つ選んで○を付けてください。

なお、マニフェスト施策と数値目標は２期目４年間で取り組むべきものですが、それぞれの実施状況（達成状況を含む）は、いずれも平成 25 年３月末（平成 24 年度末）までの３年４か月間余りの実績となっております。

マニフェスト項目１　子育て支援を充実させます

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?

下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	2	まあまあ達成されている	3	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	5	ほとんど達成されていない	6	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度より、入院費など、子ども（小・中学生）医療費の一部無料化を実施します。

→　**平成 22 年度より、子ども（小・中学生）の入院分の医療費について一部無料化を実施**
（入院 1 日当たりの自己負担額 500 円）（平成 24 年度実績 210 件）

現在、各 1 ヶ所の病後児･病児保育※の施設を、4 年以内に各 3 ヶ所に増やします。　数値目標１

→　**病後児施設 3 ヶ所、病児施設 2 ヶ所開設中（平成 24 年度末現在）**
（延べ利用児童数　平成 21 年度病後児保育 350 人、病児保育 420 人
平成 24 年度病後児保育 730 人、病児保育 1,409 人）

平成 22 年度より、乳幼児期のヒブワクチン※接種に対する公的助成を導入します。

→　**平成 22 年度より、乳幼児へのヒブワクチン接種に対する全額助成を実施**
（平成 24 年度実績 8,231 件）

平成 22 年度より、「はっち」内に「子育てつどいの広場」を開設するとともに、平成 23 年度に、八戸公園こどもの国に「子ども交流館」を開館します。

→　**平成 22 年度に、「はっち」内に子育てつどいの広場「こどもはっち」を開設、平成 23 年度に、八戸公園こどもの国に「子ども交流館」を開館**
（平成 24 年度年間利用者数　こどもはっち 46,320 人、子ども交流館 57,023 人）

今後 4 年間で、放課後児童クラブ※の数を、現在の 32 から 50 まで増やします。　数値目標２

→　**放課後児童クラブ 46 ヶ所開設中（平成 24 年度末現在）**
（登録児童数　平成 21 年度 1,201 人　平成 24 年度 1,602 人）

※病後児・病児保育…子どもが病気からの回復時または病気の時に一時的に保育園、病院等で預かること
※ヒブワクチン…ヒブ（インフルエンザ菌ｂ型）感染による細菌性髄膜炎を防ぐためのワクチン
※放課後児童クラブ…留守家庭の子ども（概ね 10 歳未満）に放課後の遊び場や生活の場を提供する事業

マニフェスト項目２　健康・医療ネットワークを完備します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度より、田向地区に、医療・健康対策を総合的に担う「総合保健センター」の整備を進め、平成 25 年度までの完成を目指します。

→　**現在、関係機関と建設手法や費用負担等について協議中であるため、完成時期を延期して、検討中（建設手法、規模等の基本構想案は作成済。完成時期未定）**

新たな疫病の蔓延を防ぐため、国および県と連携しながら、市行動計画※を早急に策定し、効果的な施策を積極的に講じます。

→　**平成 22 年度に、国・県の計画を踏まえて、八戸市新型インフルエンザ対策行動計画を策定し、以降、物資・資財の備蓄、予防知識の啓発などの事業を実施**

平成 22 年度より、空飛ぶ「ドクターヘリ※」に加え、陸路を駆けつける「ラピッド・レスポンス・ドクターカー※」を導入します。

→　**平成 21 年度より、八戸圏域定住自立圏※の連携事業として、市民病院においてドクターカーの運行を開始（平成 24 年度出動実績　圏域内 1,085 件、市内 843 件）**

平成 22 年度より、小学校や公民館などにおいて、AED※（自動体外式除細動器）の講習会を開催し、その普及・活用を促進します。

→・**市民病院において、親子などの市民を対象とした AED 講習会を開催（平成 24 年度開催数 2 回、受講者数 67 人）**
・**救急救命率向上のため、地域団体が開催する講習会や地域イベントへ、体験用の AED などを貸出し（平成 24 年度貸出回数 54 回）**

※市行動計画…感染拡大や健康被害を最小限にとどめ、地域の社会機能や経済活動が混乱しないよう対策を定めた計画
※ドクターヘリ…救急医療の専門医と看護師が同乗し、搬送中の患者に救命医療を行うヘリコプター
※ラピッド・レスポンス・ドクターカー…一刻も早い初期診療で救命率を向上させるため、救急現場へ医師を派遣する緊急自動車
※八戸圏域定住自立圏…同じ生活圏を形成している市町村が、それぞれの地域特性を活用して連携・協力することにより、人口の定住促進を図ることを目的に総務省が推進している制度で、八戸市と三戸郡 6 町村及びおいらせ町の 8 市町村において、医療・福祉・産業・公共交通などの分野で連携して事業に取り組んでいるもの
※AED…心臓停止した人の心臓の働きを戻すため、自動的に電気的ショックを与える機械

マニフェスト項目３　安心できる福祉を実現します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度より、介護学生奨学金制度を創設します。

→　**県社会福祉協議会が実施している介護奨学金制度の採用人数が拡大されたことなどから、市としては実施せず**

平成 22 年度より、高齢者の肺炎球菌ワクチン※接種への公的助成を導入します。

→　**平成 22 年度より、75 歳以上の高齢者を対象に、肺炎球菌ワクチン接種に対する助成を実施（接種 1 回につき 2,000 円、平成 24 年度実績 943 件）**

平成 22 年度より、高齢者・障がい者世帯の家具転倒防止器具の設置を進めます。

→・**平成 21～22 年度に、全町内会・自治会を対象に、家具転倒防止に関する技術研修会を開催**
・**平成 21 年度より、建設業団体とのボランティア協定に基づき家具転倒防止器具を設置（平成 21～24 年度で延べ 64 件）**

平成 22 年度より、4 年以内に認知症サポーター※の数を現在の 4 倍にするための支援を行います。　数値目標３

→・**平成 24 年度末認知症サポーター数 7,939 人、平成 21 年 10 月（2,545 人）比 3.1 倍**
・**地域住民、小中学生、民間企業従業員等を対象に、認知症サポーター養成講座を公民館や学校、企業等を会場に開催（平成 24 年度開催数 32 回）**

平成 22 年度より、「貯筋教室※」や「回想法※」などの効果を検討・研究の上、新たな介護予防策や認知症対策を講じ、参加を呼びかけます。

→・**平成 22 年度より、地区公民館、在宅介護支援センター※等で貯筋教室や介護予防教室を開催**
・**平成 22 年度に、先進地視察を実施し、平成 23 年度より、回想法を取り入れた介護予防教室や実践者研修会等を開催**
・**平成 24 年度に、 4 地区の在宅介護支援センターで回想法を実施（平成 24 年度貯筋教室、介護予防教室等 453 回、研修会参加者数 184 人）**

平成 22 年度より、「雇用コーディネーター※」を配置し、障がい者雇用を一層支援します。

→　**平成 22 年度より、職場定着・就職コーディネーターを配置し、障がい者の雇用促進を図るため事業所を訪問（平成 24 年度事業所訪問数 232 回、新規雇用 1 名、実習実施 2 名）**

※肺炎球菌ワクチン…高齢者の肺炎の原因のうち、最も頻度の高い肺炎球菌の感染防ぐためのワクチン
※認知症サポーター…養成講座を受講して、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を支援する人
※貯筋教室…「貯金」のように、日頃から身体諸機能を貯えておく「貯筋」運動を指導する教室
※回想法…主に認知症の進行防止や精神安定を図るための心理療法の一つで、過去の経験を思い出し、自分を見つめ直す機会をつくるもの
※在宅介護支援センター…地域の高齢者やその家族からの相談に応じ、必要な保健・福祉サービスが受けられるように、行政機関・サービス提供機関・居宅介護支援事業所等との連絡調整を行う機関
※雇用コーディネーター…就職を希望する障がい者と障がい者雇用を検討する企業とを結びつけ、新たな実習先や職場を開拓する人

マニフェスト項目４　共生社会※を推進します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度中に、「八戸市人権条例」を制定し、高齢者や女性、子どもを守る政策に反映させます。

→・平成 22 年度に、「八戸市虐待等の防止に関する条例」を制定し、虐待やいじめの防止に関する提言をもらうため、有識者と市職員からなる八戸市虐待等防止対策会議を設置
・平成 24 年度に、「八戸市配偶者からの暴力防止及び被害者支援計画」を策定し、街頭キャンペーン等の虐待等の防止に関する啓発・周知活動を実施

平成 23 年度より、高齢者や団塊の世代などのさらなる社会参加を促すため、鷗盟大学※に大学院を開設し、生涯学習を充実させます。

→・鷗盟大学在学生及び卒業生を対象とした大学院設置に関するアンケート調査で、大学院の設置よりも大学の授業内容の充実を求める意見が多かったことから、大学院は開設せず
・平成 23 年度より、卒業後の社会参加を促進するため、鷗盟大学のカリキュラムを見直し、地域活動等に関する学習内容を拡充

平成 23 年度より、ボランティアポイント制度を導入し、市民のボランティア活動を一層促進します。

→　平成 23 年度より、高齢者のボランティア活動を促進するため、活動実績に応じてもらったポイントが商品券等と交換できる「シニアはつらつポイント事業」を開始
（平成 24 年度末現在登録者数 224 人）

利用者の意見・要望を踏まえた上で、平成 22 年度より、公共施設や歩行空間のバリアフリー化※を一層推進します。

→・平成 22 年度より、白山台公民館、斎場、南郷歴史民俗資料館のバリアフリー化を実施
・平成 22 年度より、中心市街地の電線地中化と歩道の拡幅を実施
（鷹匠小路、六日町、十六日町、長横町等）

平成 22 年度より、高齢者や障がい者に対し、ほっとスルメール※の登録支援や緊急情報体制の周知徹底を速やかに実施するとともに、地域ケア体制の整備を図ります。

→　平成 22 年度より、災害時要援護者※の個別支援プランを作成、ほっとスルメールの登録案内を実施。本人同意のもと、災害時要援護者名簿を町内会・自治会、自主防災組織等に提供

※共生社会…だれもが相互に人格と個性を尊重し支え合う社会
※鷗盟大学…高齢者が新しい知識や教養を身につけ、広く仲間づくりを行い、明るく豊かな生活を送る一助とするため、昭和 51 年度から八戸市が開設している講座
※バリアフリー化…障がい者や高齢者の生活に不便な障害（道や床の段差など）を取り除くこと
※ほっとスルメール…緊急情報や気象、火災などの情報を、携帯電話やパソコンにメール配信する八戸市の情報サービス
※災害時要援護者…災害が発生した際に、家族等の援助が困難で何らかの助けを必要とする高齢者や障がい者など

マニフェスト項目５　防災社会の構築を進めます

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 23 年度までに、小・中学校の耐震化を集中的に進めます。

→　**耐震化が必要な小・中学校全 46 校のうち、平成 23 年度までに 44 校の耐震化を実施、平成 24 年度までに残り 2 校の耐震化を完了**

平成 22 年度より、災害時要援護者の避難支援など、被災者へのきめ細かな対応を想定した総合防災訓練を実施します。

→・**平成 21 年度に、石油コンビナート等特別防災区域での総合防災訓練を実施**
・**平成 22 年度より、災害時要援護者や子ども等の避難を想定した津波避難訓練、応急給水訓練などの総合防災訓練を実施（平成 24 年度参加者数 1,109 人）**

今後 4 年間で、リーダーの育成や啓発活動などを通じ、自主防災組織の組織化率を 80%以上に引き上げます。　数値目標４

→・**自主防災組織の組織化率 79.3%**
（83,235 世帯／市内全 104,990 世帯。平成 24 年度末現在）
・**市内の自主防災組織数 81 団体（平成 24 年度末現在）**
（平成 22～24 年度で 22 団体設立）
・**自主防災組織や町内会・自治会のリーダー等を対象に防災研修会を開催**
（平成 24 年度開催数 2 回）

地域コミュニティの機能強化を踏まえ、被災地派遣・支援受入れのための「災害ボランティアネットワーク」の形成を速やかに支援します。

→・**平成 22 年度に、大規模災害時におけるボランティアの迅速かつスムーズな受入れのため、地域団体や福祉団体、ボランティア団体等で構成する「災害ボランティアネットワーク八戸」を設立**
・**東日本大震災時に延べ 2,392 人のボランティアが支援活動を展開**

マニフェスト項目６　防犯体制を強化します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に〇をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

他地域の先進的な事例を調査の上、市民パトロールや青色回転灯パトロールカー※の巡回回数を速やかに増やします。

→・**市公用車に「安全安心パトロール」ステッカーを貼付（平成 24 年度 196 台）**
・**地域住民の青色回転灯車両による防犯パトロールを強化**
（平成 24 年度青色回転灯車両 59 台、平成 21 年度比 16 台増）

市民のニーズを調査の上、駅などに通報装置や監視カメラを速やかに設置します。

→・**設置の必要性や運用体制を検討の結果、通報装置は設置せず**
・**平成 23 年度に、市が防犯カメラを８基設置（まつりんぐ広場、こどもの国、館鼻公園）**
・**平成 23 年度より、国及び市の補助金を導入して、商店街等が防犯カメラを 13 基設置（鷹匠小路、みろく横丁、長横町）**

引き続き、警察と連携した防犯啓発活動を推進するとともに、八戸地区連合防犯協会を中心に、地域の防犯体制の充実を図ります。

→・**平成 23 年度に、警察、中心商店街と「安全・安心まちづくり暴力追放覚書」を締結**
・**毎年度、八戸地区連合防犯協会などの各防犯関係団体の活動に補助金を交付**
・**毎年度、新入学児童へ防犯笛を配布**

子どもたちの安全教育の観点からも、平成 23 年度までに、市内全小学校における安全・安心マップづくりを進めます。 数値目標５

→・**平成 23 年度までに、市内全 47 小学校中 46 校、平成 24 年度に残り 1 校で地域安全マップ※を作製**
・**毎年度、小学校教員を対象に、地域安全マップ作製指導者講習会を実施**

※青色回転灯パトロールカー…一般の自動車では装備が禁止されている青色回転灯を、自主防犯パトロールを行うことを目的に警察から認められて装備した車両
※地域安全マップ…子どもたちが自分たちで調べ、犯罪や事故などの起こりやすい場所を書いた地図

マニフェスト項目７　青少年教育の質を高めます

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に〇をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

今後４年以内に、地域密着型教育※の実施校を、平成 21 年度の 11 校から全 72（現在は全 70）小・中学校に拡大します。　数値目標６

→　**平成 24 年度までに 37 小学校・17 中学校で地域密着型教育を実施中。平成 25 年度に 9 小学校・7 中学校で実施し、市内 46 小学校・24 中学校の全 70 校で実施予定**

経済・雇用情勢の悪化にもかんがみ、平成 22 年度より、八戸市奨学金制度を拡充し、貸与金額および対象を増やします。

→・**平成 22 年度に、八戸市奨学金貸与条例を改正し、平成 23 年度より、八戸市奨学金に前年予約採用制を導入するとともに、専修学校を対象に追加（平成 24 年度貸付実績 144 人）**

・**文部科学省の教育費に関する調査等との比較で、私立高等学校の授業料や大学生の奨学金貸与額の全国平均を上回っていることから、貸与金額の見直しは実施せず**

平成 22 年度より、ふるさと納税※の一部を「人材育成ふるさと納税」とし、生活困窮者の進学支援のための給付奨学金制度を創設します。

→・**平成 21 年度に、ふるさと納税などを活用し「奨学ゆめ基金」を新設、「人材育成ふるさと納税」として、ふるさと納税の申込使途に奨学金制度を追加**

・**平成 22 年度に、給付型奨学金制度について調査・検討し、八戸市奨学金貸与条例を改正**

・**平成 23 年度より、特に優秀で経済的理由により就学が困難な学生を対象に、給付型奨学金制度を創設（平成 24 年度貸付実績 2 人）**

平成 23 年度より、青少年の英語・IT・コミュニケーション能力を高めるため、姉妹都市における小・中学校との交流促進を図ります。

→・**中国、米国、ニューカレドニアへ中学生を派遣して、派遣先でのホームステイ体験、市長表敬、交流会参加等を実施（市内各中学校から毎年 1 人派遣）**

・**蘭州市（中国）から青少年交流団（小・中学生）を受け入れ、ホームステイ体験、市長表敬、学校訪問、歓迎会参加等を実施（年間受入約 20 人）**

※地域密着型教育…家庭や地域社会と連携し、地域住民の意見を学校運営に反映させる制度
※ふるさと納税…居住地に納める住民税の一部を任意の地方自治体に寄附できる制度

マニフェスト項目８　循環型都市の水準を高めます

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に〇をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度より、太陽光発電の公共施設における設置を促進するとともに、町内会の LED 街路灯※の設置に対する助成制度を拡充します。

→・**平成 23 年度に、2 小学校、1 公民館に太陽光発電システムを導入、平成 25 年度に、1 小学校、3 公民館等に太陽光発電システムを導入予定**

・**平成 22 年度より、町内会・自治会の LED 防犯灯設置に対する補助制度を開始（平成 22～24 年度で延べ 797 灯設置）**

平成 22 年度より、路線バスの利便性を向上させるため、情報案内システムや路線ナンバリング※、バスマップなどの整備を進めます。

→　**平成 22 年度より、次の事業を実施**

・**バスロケーションシステム※及び路線ナンバリングの整備**

・**バスマップの作成**

平成 23 年度より、次の事業を実施

・**中心街一日乗車券「まちパス 300」の導入**

・**路線バス上限運賃化（市内 300 円、定住自立圏域内 500 円上限）の実証実験**

・**深夜乗合交通の実証実験　等**

※LED 灯…長寿命で維持管理コストが安く、また、消費電力が少なく環境負荷が小さい照明灯
※路線ナンバリング…方面別のバス路線を記号や数字、色別で示す制度
※バスロケーションシステム…バスの位置情報を、バス停への接近や到着予測時刻情報として利用者に提供するシステム

マニフェスト項目９　地域経済を活性化します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に〇をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

今後４年間で、トップセールス※によってさらに10社以上の企業を誘致します。　数値目標７

→・**13社誘致（平成24年度末現在）**
・**誘致企業13社による設備投資額 約600億円、新規雇用者数 約450人（予定）**
・**東京及び名古屋において、市長のトップセールスにより企業誘致セミナーを毎年開催（平成24年度参加者数434人）**

八戸港の機能をさらに充実させ、今後４年間で、コンテナ貨物取扱量を５万TEU※まで増やします。　数値目標８

→・**コンテナ貨物取扱量42,863TEU（平成24年）**
・**八戸港中央第１、第２防波堤を整備中、コンテナターミナルのガントリークレーン１号機の更新を開始、冷凍コンテナ設備を整備予定**
・**海外へミッション団を毎年派遣（上海、ベトナム、シンガポール、韓国、台湾）**
・**東京、名古屋等でポートセミナーを毎年開催**

平成22年度より、中小企業の資金需要に対応して、融資制度枠を一層拡充します。

→・**平成22年度に、中小企業に対する各種融資枠を拡大（平成21年度融資枠55.8億円→平成22年度融資枠75.8億円）**
・**平成23年度に、中小企業の設備資金を対象とした融資制度を創設**

首都圏における地場産品販売拠点の整備を促進し、全国への販売ルートの拡充を目指します。

→・**毎年度、「ふるさとまつり東京」等の首都圏で開催される物産展に出展**
・**新たな販路拡大を目的として、市物産協会等に対し補助金を交付し、首都圏等で開催される物産展等への地元企業の出展、展示販売を促進（平成24年度物産展への出展114回）**

八戸港の港湾計画改訂をふまえ、平成22年度より、大規模エネルギー基地構想を推進します。

→・**平成21年度に県が八戸港の港湾計画を改定し、エネルギー関連施設などを計画**
・**平成21年度に、エネルギー基地構想の中核となる八戸LNG（液化天然ガス）輸入基地立地協定を締結（平成27年度操業予定）**
・**平成22年度より、地元企業等のLNG利用促進に向けたセミナーやフォーラムを開催**

※トップセールス…市長自らが先頭に立って地域の産物、産業などを積極的に売り込むこと
※TEU…20フィートコンテナを１単位として、港湾が取り扱える貨物量を表す単位

マニフェスト項目 10　雇用の維持・創出を目指します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度までに、雇用を専門とする部署として「雇用支援対策室」を市役所内に設置します。

→　**平成 22 年度に、雇用の維持・創出を専門とする雇用支援対策課を設置し、課内に無料職業紹介所を開設（平成 24 年度相談実績 67 件、就職実績 10 件）**

経済団体および労働団体、ハローワークなどとの定期協議機関を速やかに設置します。

→　**平成 21 年度に、労働団体、経営者団体、金融団体、行政機関などの 10 団体で、経済・雇用連絡協議会を設置し、情報共有と雇用状況の変化に対応した支援策等について検討・協議（平成 24 年度開催数 3 回）**

平成 22 年度中に、健康長寿分野や環境分野、農業分野における新たな雇用創出戦略ビジョンを策定します。

→　**平成 22 年度に、医療・福祉、農・水産、環境・エネルギーを重点分野とした雇用創出戦略ビジョンを策定し、働く場の創出、多様な人材の創出、効果的なマッチングの推進の 3 つを柱とする施策を推進**

平成 22 年度より、ふるさと雇用再生特別交付金事業や緊急雇用対策事業のほか、国や県との連携を図りながら、さらなる雇用創出の施策に取り組みます。

→　**平成 22 年度より、国の雇用対策制度として、次の 3 事業を実施**

- **ふるさと雇用再生特別基金事業（平成 22・23 年度に延べ 22 事業、131 人新規雇用）**
- **緊急雇用創出事業（平成 22～24 年度に延べ 99 事業、1,053 人新規雇用）**
- **住宅手当緊急特別措置事業（平成 22～24 年度に延べ 136 件、27,085,300 円支給）**

※ふるさと雇用再生特別基金事業…地域内でニーズがあり、地域の発展に資する事業で、その後も継続が見込まれる事業を県や市が民間企業に委託し、民間企業が求職者を新たに雇い入れる事業。
※緊急雇用創出事業…地域の雇用失業情勢が厳しい中、離職を余儀なくされた人の一時的な雇用のため、県や市が民間企業に事業委託し、民間企業が求職者を新たに雇い入れる事業。
※住宅手当緊急特別措置事業…働く意欲のある離職者で、住宅を喪失または喪失するおそれのある人を対象に、住宅の確保と就労機会の確保を支援するため、賃貸住宅の家賃を支給する事業

マニフェスト項目 11　発信型農業※を支援します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 23 年度までに、現在の農業交流研修センターを「農業経営振興センター」に発展的に改組し、その機能を強化します。

→　**平成 23 年度に、農業交流研修センターを発展的に改組し、農業経営支援に関する業務を集約して、農業経営振興センターを設置。農業に関する情報分析・提供機能を強化**

平成 23 年度より、農家が県や市、広域農協からの支援情報を一元的に得られるようにするためのワンストップ体制※を構築します。

→　**平成 23 年度より、農業経営振興センターにおいて、起農、他業種からの農業参入、農業者の規模、品目の拡充等を促進するため、担い手育成、融資・補助制度、生産技術指導等の農業経営支援に関する業務を一元的に提供**

平成 22 年度中に、八戸の農産物を全国および世界に売り込むための「農産物ブランド戦略会議」を設置します。

→・**平成 23 年度より、「八戸野菜」のブランド化推進のためのモデル事業として、八戸野菜フォーラムを定期的に開催（平成 24 年度開催数 4 回）**

・**平成 24 年度に、農産物ブランド戦略会議を設置し、八戸伝統野菜及び八戸特産野菜の生産・販売戦略を策定（平成 24 年度開催数 3 回）**

畜産の国内一大基地化を実現するため、平成 22 年度以降、各種障害の除去に引き続き全力で取り組みます。

→・**平成 22 年 9～10 月に、畜産関係団体が、畜産の一大基地化実現の障害となっている畜産施設に関する環境アセスメント※の見直しを、県に要望**

・**平成 23 年 4 月に、県規則が改正され、環境アセスメント対象施設の規模要件が緩和（飼育数の拡大）**

・**平成 23 年度に、環境アセスメント実施基準のさらなる緩和（基準を飼育数から排水量への変更）を八戸市復興計画に位置づけ、県知事に対し要望**

※発信型農業…生産物の特性・魅力をアピールしながら売り出していく農業
※ワンストップ体制…一度の手続きで必要な作業をすべて完了できるように配慮されたサービス体制
※環境アセスメント…大規模な開発行為による環境への影響を事前に調査、予測、評価を行い、公表した結果への意見を計画へ反映する手続き

マニフェスト項目 12　水産業の振興を図ります

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度中に、関係者による「はちのへ水産振興会議」を設置し、八戸の水産業グランドデザイン※を策定します。

→・**平成 23 年度に、東日本大震災により甚大な被害を受けた当市水産業の生産・流通・加工分野の復旧及び復興を適切かつ迅速に推進するため、漁業生産者、卸売業者、仲買人、水産加工業者、学識経験者等からなる「はちのへ水産復興会議」を設置**

・**平成 24 年度に、震災からの復興策を盛り込んだ「水産業復興ビジョン」を策定**

平成 22 年度までにハサップ※対応型魚市場を整備するとともに、魚市場機能の集約・強化を進めます。

→・**平成 21 年度より、第 3 魚市場周辺へ荷捌き施設を集約し、魚市場機能の拠点化を推進**

・**平成 22 年度末に、完成直前のハサップ対応型荷捌き施設が東日本大震災の津波で被災**

・**平成 24 年度に、衛生管理の高度化を図るハサップ対応型荷捌き施設の震災復旧を完了**

平成 22 年度より、イカ・サバのブランド化をさらに推進するための支援を行います。

→・**市の水産加工品を PR するため、全国の食品卸売業者等を対象に「はちのへ水産加工品展示会」を毎年度開催**

・**平成 20 年度より、八戸商工会議所が主催する「八戸前沖さばアイデア料理コンテスト」などを開催**

・**平成 22 年度より、市を含む関係団体で『イカの街はちのへ』連絡協議会を設立し、「イカのまちづくりフォーラム」、「八戸イカの日（8 月 10 日）イベント」を開催**

平成 22 年度より、老朽化漁船代船対策事業を大中型まき網漁業以外の漁業にも拡充し、「八戸地域プロジェクト※」を拡充します。

→　**平成 22 年度より、国の承認を受けて「八戸地域プロジェクト」を拡充し、小型底曳網漁業、遠洋底曳網漁業についても、収益性の高い操業・生産体制への転換を推進**

※グランドデザイン…全体を長期かつ総合的に見通し、長期間にわたり遂行される大規模な計画
※ハサップ…食品の安全管理上、原材料から最終消費までの各段階で危害が発生しないようにする仕組み
※八戸地域プロジェクト…国の承認・支援を受けて、より厳しい経営環境下でも操業を継続できる漁業経営への転換を図る事業

マニフェスト項目 13　観光資源を最大限活用します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度より、八戸ゆかりの人々による四季折々の観光企画に対する助成を行います。

→　**助成制度を創設せず、平成 22 年度より、市の事業として、種差海岸や南郷区において著名人と歩くトレッキングイベントを開催（平成 24 年度開催数 3 回、参加者数延べ 235 人）**

平成 22 年度に、はちのへ観光誘客推進委員会とともに、東北新幹線青森延伸キャンペーン事業を実施します。

→　**八戸商工会議所、八戸観光コンベンション協会、民間企業等で組織されるはちのへ観光誘客推進委員会と連携し、次の事業を実施**
- **平成 22 年度に、東北新幹線全線開業キャンペーン及び関連事業への参加**
- **平成 23 年度に、青森デスティネーションキャンペーン関連事業への参加**

八戸の「横丁」や「朝市」などを全面的に押し出すフィールドミュージアム八戸構想※を着実に推進します。

→　**フィールドミュージアム八戸構想を推進するため、次の事業を実施**
- **平成 21 年度に、朝市横丁マップの作成**
- **平成 22 年度より、はっちを出発して各フィールドミュージアムを巡るパンフレットの作成、観光 PR キャンペーンへの「イサバのカッチャ」の派遣**
- **平成 23 年度より、はっち発のガイド付きツアーの実施（八戸観光コンベンション協会主催）**

平成 22 年度より、名勝・種差海岸や蕪島の誘客施設・休憩施設などの整備を集中的に行います。

→
- **平成 22 年度に、蕪島・葦毛崎間の遊歩道の未整備区間の調査を実施**
- **平成 24 年度に、蕪島の誘客・休憩施設等の基本設計を実施（平成 25 年度実施設計予定）**
- **平成 25 年度に、三陸復興国立公園の指定（平成 25 年 5 月 24 日）に伴い、国で整備する種差海岸インフォメーションセンターの隣接地に休憩施設を整備予定**

平成 22 年度に、アジア諸国などからの来訪者増加やコンベンション※誘致のための検討会を設置します。

→　**検討会は設置せずに、次の具体的な施策を推進**
- **平成 22 年度に、市営魚菜小売市場に外国人対応の案内板（朝食、トイレ）を設置**
- **平成 23 年度に、八戸圏域定住自立圏の連携事業として、外国人観光客に対応したガイドマップを作成（英語、中国語、韓国語）したほか、三社大祭パンフレット（中国語、韓国語）を作成、中国・台湾・韓国の旅行代理店等との海外旅行商品開発商談会へ参加**
- **平成 24 年度に、えんぶりパンフレット（中国語、韓国語）、観光 DVD（英語、中国語、韓国語）を作成するとともに、これまで青森県観光連盟の助成対象外であった小規模コンベンションの開催に対する補助金を創設**

※フィールドミュージアム八戸構想…市内にある自然・祭・食などの観光資源を取り上げ、市全体を屋根のない博物館に見立てて、効果的な観光 PR を進める構想
※コンベンション…集会、大規模な催し。延べ宿泊数が 100 泊未満を小規模コンベンションという。

マニフェスト項目 14　中心市街地のにぎわいを回復します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度までのできるだけ早期に地域観光交流施設「はっち」を完成させ、市街地再生の起爆剤にします。

→　**平成 22 年度に、八戸ポータルミュージアム「はっち」を開館し、中心市街地賑わい創出、文化芸術活動振興、ものづくり、観光振興・フィールドミュージアム八戸推進、情報発信の 5 つの事業を展開（平成 24 年度末までの入館者数約 190 万人）**

平成 22 年度より、中心商店街の魅力づくりのための環境整備に対する助成制度を創設するとともに、市民型ビジネス※や NPO 支援による空き店舗対策を拡充します。

→・**平成 21 年度より、商店街の魅力づくりのための環境整備に補助金を交付（平成 21～24 年度の中心商店街での実績 5 件）**
・**平成 22 年度より、中心市街地の空き店舗を解消するため、小売業や飲食・生活関連サービス業等の店舗改装経費に補助金を交付（平成 22～24 年度の実績 5 件）**

平成 22 年度より、中心市街地の玄関口となる本八戸駅通りの整備を計画的に促進します。

→・**平成 22 年度より、本八戸駅・三日町間の街路事業に着手**
・**平成 23 年度に、内丸地区街なみ環境整備事業計画を策定**
・**平成 24 年度に、内丸地区の街なみ整備に対する補助金を創設し、建物外観の修景費等に補助金を交付（実績 1 件）**

中心市街地に地元大学のサテライト機能※を置いてもらえるよう、意見交換の場としての懇談会を速やかに設置します。

→　**平成 23 年度に、市内 3 大学等の学長・校長と市長との懇談の場である八戸市都市研究検討会※において、中心市街地への地元大学サテライト機能の設置に向けた検討を提案（平成 23 年度、八戸工業大学が防災意識向上のための情報発信の拠点として研究サテライトを十三日町に設置）**

平成 22 年度より、まちなか居住を促進するため、中心市街地における賃貸住宅の建設を支援します。

→・**平成 22 年度より、番町地区に民間事業者による借上市営住宅 50 戸を建設、平成 23 年度完成・入居開始**
・**平成 24 年度に、八日町地区の大型商業ビルの再開発の基本設計を完了、平成 25 年度既存ビルを解体、平成 26 年度以降建設予定**

※市民型ビジネス…地域の課題を、住民が主体的にビジネスの手法で解決する事業活動
※サテライト機能…大学等の本部から離れた場所に設置される教室
※八戸市都市研究検討会…八戸工業大学学長、八戸学院大学学長、八戸工業高等専門学校校長、八戸市長の 4 名で構成される、地域が有する政策課題等を協議する場

マニフェスト項目 15　地元大学・学生との連携を強化します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に〇をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度より、現在の八戸市民大学講座を多様化させ、地元大学の教員による地域色豊かな講座を開講します。

→　**平成 22 年度より、八戸市民大学講座において、市内大学等の教員による八戸の地域資源・ライフスタイル等をテーマとする講座を開講（年間 1～2 講座）**

平成 22 年度より、「学生地域貢献表彰制度」を創設し、地域での積極的な活動や貢献、提案を奨励します。

→　**平成 23 年度より、学生の優れた地域貢献活動を助成する学生地域貢献表彰制度を創設、成果発表会を開催し、市への貢献性の高い活動を表彰**
（平成 24 年度補助金交付 5 件、表彰 2 件）

平成 22 年度以降、現在の八戸市都市研究検討会を発展させ、産学官連携のシンクタンク※として「知」の結集を推進します。

→・**八戸市都市研究検討会において研究テーマを決定し、学校教員及び市職員等からなるプロジェクトチーム※で調査・研究活動を実施**
・**平成 22 年度より、産業経済、環境及び学生のまちづくり活動に関する 3 つの研究を実施済。現在、防災に関する研究を実施中**

地域や介護施設などでの学生のボランティア活動を単位として認定してもらえるよう、関係機関に対し速やかに働きかけます。

→・**平成 23 年度に、八戸学院大学、八戸学院短期大学、八戸工業大学、八戸高専におけるボランティア活動の単位認定制度の導入状況調査を実施（全ての大学等で制度導入済）**
・**平成 23 年度に、八戸市都市研究検討会において市長から市内大学等に対し、単位認定制度のさらなる拡充を要請**

※シンクタンク…さまざまな分野での社会問題について調査分析を行い、政策立案・提言を行う機関
※プロジェクトチーム…特定の事業や計画実現、課題解決のため、企業や部署を横断して人材が集められた研究組織

マニフェスト項目 16　文化・スポーツを一層振興します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

関係者の意見をふまえ、多様な文化活動のための「市民練習場」の整備を早急に検討し、実現を目指します。

→・**平成 21 年度より、文化団体に対するアンケート調査及びヒアリングを実施**
・**平成 22 年度に、文化施策に提言をもらうため、有識者や文化団体等で構成される多文化都市八戸推進懇談会で検討し、平成 23 年度に既存施設を中心に検討すべき旨提案**
・**平成 25 年度に、旧番屋小学校で市民練習場の試験的運用を予定**

平成 22 年度より、新たなまちづくりの一環として、「アートのまちづくり」を推進します。

→・**平成 22 年度に、多文化都市八戸推進懇談会より、「アートのまちづくり」に関する提案書が提出**
・**平成 23 年度より、中心街や南郷区、工場群等において、地域特性を活かした各種アートプロジェクト※を実施**

平成 22 年度より、郷土芸能などの地域文化の保存や伝承を促進するための支援を拡充します。

→　**平成 22 年度より、次のとおり地域文化の保存・伝承への支援を拡充**
・**無形民俗文化財保存団体への補助金の増額（13 団体）**
・**「民俗芸能の夕べ」出演団体の拡大（3→4 団体）**
・**郷土芸能を映像に保存する DVD の作成**
・**八戸小唄普及のためのイベントに補助金の交付（平成 24 年度より）**

県との協議を積極的に行い、県立屋内スケート場の早期完成を目指します。

→・**平成 24 年度に、県が屋内スケート場整備構想を策定（平成 25 年度基本計画予定）**
・**平成 24 年度に、市が屋内スケート場建設を踏まえた長根公園再編プランを策定**

平成 22 年度より、八戸スポーツ振興協議会などを通じて、アイスホッケーをはじめとする地域スポーツの一層の振興を図ります。

→　**平成 21 年度に、八戸スポーツ振興協議会を設立し、八戸市を本拠地とするアイスホッケーやサッカーなどのスポーツチームが主催するスポーツ教室や講演会などのイベントを支援、広報宣伝事業を実施**

平成 22 年度より、市民の健康増進のための「スポーツ・健康・ダイエットフォーラム」を定期開催します。

→　**平成 22 年度より、著名なスポーツ関係者を講師に、「スポーツ・健康・ダイエットフォーラム」を年 1 回開催（平成 24 年度受講者数 272 人）**

※アートプロジェクト…「アート」を活用し、まちづくりや地域課題の解決を目指す取組

マニフェスト項目 17　協働のまちづくりを進めます

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

先進事例の調査などをふまえ、速やかに町内会・自治会加入率の引上げのための施策を実施します。

→　**先進事例の調査結果を踏まえ、次の施策を実施**
- **平成 22 年度より、市内 2 地区において加入促進ガイドブックを作成するなど、町内会加入促進のためのモデル事業を実施、市職員の町内会加入の勧奨を実施**
- **平成 23 年度に、町内会・自治会の共通の課題解決を図るため、八戸市連合町内会連絡協議会を設立**
- **平成 24 年度に、町内会・自治会加入促進に向けたチラシ・ポスターを作成、不動産関係団体との懇談会を開催**
- **平成 25 年度に、八戸市連合町内会連絡協議会と連携し、町内会加入促進に向けたガイドブックの配布、キャンペーンの開催、不動産関係団体との町内会加入促進に関する協定の締結を予定**

平成 23 年度までに、町内会・自治会の連合組織を立ち上げ、町内会・自治会共通の課題解決を促進します。

→　**平成 23 年度に、八戸市連合町内会連絡協議会を設立し、町内会・自治会の共通の課題となっている町内会加入率の向上を図るため、次の事業を実施**
- **平成 24 年度より、会員間相互の情報共有を図るため、ニュースレターを発行、人材育成のための地域リーダー応援講座を開催、ホームページを開設**
- **平成 25 年度に、町内会加入促進に向けたガイドブックの配布、キャンペーンの開催、不動産関係団体との町内会加入促進に関する協定の締結を予定**

地域の活動を支援するため、平成 23 年度に、「おらほの地域自慢奨励制度」を創設します。

→　**市民の地域に対する愛着を育むため、自分が住む地域の魅力を再認識するよう、「おらほの地域自慢奨励制度」として、次の事業を実施**
- **平成 23・24 年度に、地域自慢をテーマとした FM ラジオ番組「突撃！はちのへオジャマ隊」を放送**
- **平成 24 年度より、「発信！地域自慢」として広報はちのへに連載し、特色ある地域の歴史、文化、特産品、活動等を広く紹介し、地域の魅力を再認識する活動を支援**

平成 23 年度より、地区公民館のコミュニティセンター機能※を拡充します。

→　**平成 22 年度より、公民館職員の勤務体制の充実を図るとともに、平成 23 年度より、地域づくり活動のために地域住民が利用できるパソコンを全館に導入することによって、地区公民館の業務に地域づくり支援業務を追加し、コミュニティセンター機能を拡充**

※コミュニティセンター機能…まちづくり活動やボランティア活動等の住民の地域活動の場としての役割

マニフェスト項目 18　多様な意見を市政に反映させます

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度に、「元気アップ青年会議」を設置し、若者同士の交流やまちを元気にする活動を促進するとともに、市政に対する多様な意見・要望を表明する場を設けます。

→　**平成 22 年度に、八戸圏域定住自立圏の連携事業として、「はちのへ青年倶楽部カダリスタ」を設置し、若者同士の体験活動、五戸町のふるさと CM 制作、セミナー、地域活性化策の提案発表会、市長との意見交換会などを実施**
（平成 24 年度末現在登録者数　圏域内 68 人、八戸市内 47 人）

平成 22 年度中に、現在の「女性まちづくり塾※」を拡充し、女性の発想をさらに市政に反映していきます。

→・**平成 22 年度より、職場などでの地位向上に必要となる提案発表能力、課題解決能力、コミュニケーション能力、企画力などの習得を図るため、「女性チャレンジ講座」を開講し、女性の人材を育成（平成 24 年度参加者数 40 人）**
・**平成 22 年度より、地域活性化、震災復興、三陸復興国立公園をテーマに、各分野で活躍する女性と市長の意見交換の場として、「トーキングカフェ」を毎年開催**

平成 22 年度より、議会が議決した意見書や採択した請願についての市長の見解や対応を市民に報告します。

→・**平成 22 年度より、市長の見解や対応を公表することの可否、公表する場合の方法について検討し、議会事務局と協議・調整**
・**平成 23 年度より、議会が議決した意見書や採択した請願の対応状況を、広報はちのへ及び市のホームページに掲載**

平成 22 年度より、各界各層の意見を市政に反映するため、定期的に「市長との公開トーク」を開催します。

→　**平成 22 年度より、各界各層の意見を市政に反映させるため、市長との意見交換会を次のとおり開催し、広報はちのへや市ホームページで開催内容を紹介**
・**さまざまな分野で活躍する女性を対象とした「トーキングカフェ」**
・**在住外国人や留学生を対象とした「グローバルトーク」**
・**八戸圏域定住自立圏域内の青年を対象とした「はちのへ青年倶楽部カダリスタ」**

※女性まちづくり塾…政策や方針決定の場に参画する女性の人材を育成するため、当市において平成 13～19 年度に実施した研修制度

マニフェスト項目 19　新しい行財政改革を推進します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に〇をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 21 年度中に、これまでの行財政改革を十分に検証・公開した上で、新たな視点から第 5 次行財政改革大綱を策定します。

→・**平成 21 年度に、第 4 次行財政改革の実施状況を検証し、定員管理、基金残高及び財政健全化指標の 3 つの指標を設定し、平成 22～26 年度の 5 年間で行財政改革を推進する第 5 次行財政改革大綱を策定**

・**第 4 次でスリム化した職員数と財政の健全性を維持しながら、効率性を高め、質の高い市民サービスの提供を推進**

平成 22 年度より、民間手法を多分に取り入れた市庁「カイゼン」運動に全力で取り組み、行政のさらなる効率化を図ります。

→　**平成 22 年度より、民間で取り組まれている現場主導の改善手法を取り入れ、各課が主体的に課題について検討・実行し、さらなる行政の効率化を図る「一部署一改善運動」を実施（平成 24 年度取組事項 62 項目）**

平成 22 年度中に類似自治体※とのさらなる比較分析を行い、事業の効率化などを速やかに実施します。また、行政のさらなる情報公開を進めるための方策にも活用します。

→・**平成 22 年度に、24 の類似自治体との人事、財政、行政改革等についての比較分析を実施。結果を踏まえ、有識者で構成する八戸市行政改革委員会での意見聴取などを経て、庁内各課において取組を推進**

・**平成 23 年度に、類似自治体との比較分析結果について、広報はちのへや市ホームページで公表**

※類似自治体…人口、産業構造、事務権限などが八戸市と類似する自治体

マニフェスト項目 20　増税なき歳入増を目指します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

市内外の方々に、ふるさと納税を積極的に要請し、今後 4 年間で、納税額を現在の 5 倍にすることを目指します。 数値目標 9

→・**平成 24 年度ふるさと納税額 12,708 千円、平成 20 年度（5,473 千円）比 2.3 倍**
・**平成 22 年度より、リーフレットの作成、ホームページ・広報はちのへへの掲載、専門の相談窓口の設置、寄附者への記念品の見直し、同窓会、県人会、八戸大使等への PR 活動などを実施**

市広報媒体などにおける民間企業広告の収入を、今後 4 年間で、現在の 3 倍にすることを目指します。 数値目標 10

→・**平成 24 年度民間企業広告収入 6,836 千円、平成 20 年度（2,310 千円）比 3.0 倍**
・**平成 22 年度より、有料広告インセンティブ予算制度※を創設し、各種通知用封筒や家庭ごみの分け方・出し方ちらし、本館 1 階窓口フロアーでの窓口番号案内表示システム等への広告を新たに導入するとともに、ネーミングライツ（命名権※）を導入**

平成 23 年度より市の各種施設の命名権※活用による収入増を図ります。

→　**平成 22 年度より、八戸公園「子ども交流館」、平成 23 年度より、「新井田インドアリンク」に命名権を導入（2 施設で年間 140 万円の歳入増）**

今後 4 年間で、市税徴収率を現在の 93.1%から 95%以上に引き上げることを目指します。 数値目標 11

→・**平成 23 年度市税徴収率 91.8%**
・**平成 23 年度より、市税の徴収体制を強化するため、コールセンター※での電話催告を開始**

※有料広告インセンティブ予算制度…新たな有料広告事業に取り組んだ部署に対し、市民サービスの向上を図る新規事業の予算を翌年度に優先的に付与する制度
※命名権…対価を支払うことで、公共施設に企業名、商品名を付与することができる権利
※コールセンター…市税を期限までに納付していない人に対し、収納課に代わり電話で納税の呼びかけ案内を行う民間事業

マニフェスト項目 21　市政窓口の改革に取り組みます

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度より、「窓口サービス向上運動」に全庁あげて取り組みます。

→　**平成 22 年度に、窓口サービス向上指針と業務改善計画を策定し、以降、次の取組を実施**

- **窓口サービスアンケート、窓口サービスセルフチェック**
- **本館 1 階市民課への窓口番号案内表示システムの導入、市政情報モニターの設置**
- **レイアウト変更などによる待合スペースの改善　等**

平成 22 年度より必要に応じ、民間企業・団体での研修を実施し、市職員のサービス精神を高めます。

→　**民間企業や社団・財団法人に対し職員を研修派遣**
（平成 22～24 年度で延べ 7 人派遣。合わせて国、県に平成 22～24 年度で延べ 9 人派遣）

平成 22 年度より、市政の出来事や課題、市長のメッセージなどを載せたメールマガジン※の定期配信を始めます。

→　**平成 23 年度より、市長メッセージやイベント情報、市が登場するテレビ番組、市からのお知らせ等を、メールマガジンとして配信**
（平成 24 年度 15 回、平成 24 年度末現在登録者数 719 人）

※メールマガジン…発信者がメールで定期的に情報を届けるシステム

マニフェスト項目 22　行政の危機管理体制を強化します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度中に、災害時における BCP※（市役所業務継続計画）を策定します。

→・**平成 22 年度に、新型インフルエンザに対応した BCP を策定**
・**現在、東日本大震災を踏まえた地震編を検討中**

平成 22 年度より、多様な災害のシミュレーション（図上演習※）を半年に 1 回程度実施し、その結果を市民に報告します。

→・**平成 22 年度より、地震・津波、大規模断水、大雨台風等を想定した図上演習を年 2 回実施**
・**現在、市民への報告方法について検討中**

※BCP（業務継続計画）…災害などが発生したときに重要業務が中断しないよう、事業継続について戦略的に準備しておく計画
※図上演習…地図を用いて災害対応や事前対策などを検討する訓練

マニフェスト項目 23　合併効果の最大化を追求します

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 22 年度以降、新市建設計画※に掲載された事業を引き続き推進するとともに、「南の郷手づくり未来計画」を促進します。

→・**平成 22 年度に、新市建設計画後期計画を策定し、グリーンプラザなんごう産地直売所の拡張、世増ダム周辺の水辺環境整備、南郷アートプロジェクトなどの各種事業を推進**
・**南郷区の地域住民自らが策定したまちづくり計画「南の郷　手づくり未来計画」（61 施策掲載）を促進（平成 24 年度までに 47 施策実施）**

南郷区との交流の利便性を高めるため、市道西母袋子線を早期に完成させます。

→　**平成 24 年度に、島守地区と八戸市街地を結ぶ幹線道路として、市道西母袋子線が完成、平成 25 年度供用開始（道路延長 3,300m）**

平成 21 年度中に、首都圏の小・中学生などのための農業体験学校の検討を開始し、同 22 年度以降、速やかな実現を目指すなど、そばや果樹をはじめとする南郷区における農業とグリーンツーリズム※の一層の振興を図ります。

→・**南郷区の観光農業の振興に補助金を交付、観光農業のＰＲ活動を実施**
・**受入農家の接遇マナー向上や調理に関する研修会を開催**
・**関東圏・関西圏などの中学校・高等学校から農業体験修学旅行を受入れ（平成 22～24 年度で中学校・高等学校延べ 12 校、延べ 2,433 人受入れ）**

平成 22 年度より、南郷ジャズフェスティバルのさらなる充実を図るとともに、南郷文化ホールを活用した定期的な映画の上映「南郷名画座」を実施します。

→・**平成 22 年度より、南郷ジャズフェスティバルにおいて、前夜祭やオープニングでの市内アマチュアバンドの参加など、市民参加を推進**
・**平成 22 年度より、南郷文化ホールで八戸市にゆかりのある作品を中心に「南郷名画座」を開催（平成 24 年度に 4 作品上映）**

平成 22 年度より、二地域居住※の可能性や方法を検討します。

→　**平成 22 年度より、八戸圏域定住自立圏の連携事業として、八戸市東京事務所に定住自立圏情報コーナーを設置、圏域内の市町村の観光、イベント、U ターン等の情報を発信。空き家バンクや移住希望者の受入態勢、サポート体制について検討中**

※新市建設計画…旧八戸市と南郷村の合併に当たり、速やかな一体化を促進し、それぞれの魅力を活かしたまちづくりを進めるための計画
※グリーンツーリズム…農山漁村地域で自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型余暇活動
※二地域居住…都市住民が農山漁村等と都市の両方を生活の拠点として居住すること

マニフェスト項目 24　広域連携・自立の促進を図ります

このマニフェスト項目がどの程度達成されていると思いますか?
下に掲げるマニフェストの実施状況を踏まえて、あてはまるものを１つ選んで番号に○をつけてください。

【回答欄】

1	十分に達成されている	**2**	まあまあ達成されている	**3**	どちらともいえない
4	あまり達成されていない	**5**	ほとんど達成されていない	**6**	わからない

マニフェスト施策と実施状況

平成 21 年度末までに、近隣町村との定住自立圏共生ビジョン※を策定し、連携施策を推進します。

→・**平成 21 年度に、20 の連携事業を登載した定住自立圏共生ビジョンを策定**
・**平成 24 年度末現在、ドクターカー、ほっとスルメール、路線バス上限運賃化等の 30 事業を実施中**

平成 22 年度以降、三圏域連携推進事業※を引き続き積極的に実施し、一体性の醸成を目指します。

→　**平成 22 年度より、次のような岩手県北（久慈・二戸地域）との連携事業を推進**
・**三圏域の名称「北緯 40°ナニャトヤラ連邦」ロゴマーク※デザインの作成**
・**北のコナモン博覧会※の開催**
・**地元産木材活用セミナー及び服飾企業の交流商談会の開催**
・**パークゴルフ交流大会及び郷土芸能交流祭の開催（平成 23 年度より）**
・**久慈市・二戸市との広報紙面の交換等（平成 23 年度より）**

引き続き中核市※構想を推進します。

→　**中核市に関する国の制度見直しの動向等について情報収集を実施中**

平成 22 年度より、遠隔地を含めた他の自治体との多様な連携方法を模索しながら、相互補強のためのさまざまな「自治体コンソーシアム※構想」を推進します。

→・**平成 22 年度より、政策研究のテーマ選定と先進自治体の調査を実施**
・**平成 23 年度に、先進自治体との連携強化を目的としたフォーラムを開催、地域公共交通をテーマに全国 11 自治体との情報交換を開始**

※定住自立圏共生ビジョン…同じ生活圏を形成している市町村が、それぞれの地域特性を活用して連携・協力することにより、人口定住を促進するための圏域の将来像及び具体的取組を示す計画
※三圏域連携推進事業…八戸・久慈・二戸の３つの圏域の３市と県の機関が中心となって、圏域全体の振興に向けさまざまな分野で連携して取り組む事業
※ロゴマーク…企業やブランドを象徴するようなイメージなどを図案化したもの
※北のコナモン博覧会…青森県南地域、岩手県北地域の粉食文化（小麦粉、米粉、そば粉、豆粉など）を提供する飲食店・販売店等を巡るスタンプラリーを開催し、圏域内外からの誘客・交流促進を図る取組
※中核市…人口 30 万人以上の要件を備え、県から保健衛生、都市計画等の権限を移譲され、地域の中核的な機能をもつ都市
※自治体コンソーシアム…複数の自治体が政策の充実・強化を図るために連携すること

アンケートに御協力くださいまして、誠にありがとうございました。